

26	入力内容を保存	27	鉛直荷重計算に移動	28	水平荷重計算に移動	29	終了
<b>アイ・テックSデッキ構造計算プログラム-入力画面</b> 工事名称 <input type="text"/>						26	※ 26～29はクリックで保存・移動・終了 ← 工事名称を入力( ○○○新築工事など )
<b>●検討条件</b> <input type="text"/>						27	← 検討条件を入力( No.1 2階 DS1 事務室 など)
<b>鉛直荷重の検討</b>						※ 鉛直荷重の検討は3～19を入力してください。	
●デッキプレート	デッキ山高(H)	50	mm	3	← リストからデッキ山高を選択		
	デッキ板厚(t)	1.2	mm	4	← リストからデッキ板厚を選択		
	表面処理	Z12		5	← リストから表面処理を選択		
	支持条件	単純支持		6	← リストから支持条件を選択		
●スパン	施工時(WLd)	2000	mm	7	← 施工時のスパン(支持材の内法)を入力		
	設計時(Ld)	2000	mm	8	← 設計時のスパン(支持材の中心間距離)を入力		
●コンクリート	種類	普通		9	← リストからコンクリート種類を選択		
	基準強度(Fc)	18	N/m <sup>2</sup>	10	← リストから基準強度を選択		
	スラブ厚(S)	80	mm	11	← リストからスラブ厚(山上50～100mm)を選択		
	スラブ厚(S)が100mmを超える分	0	mm	12	← 山上スラブ厚が100mmを超える分を入力 ※ (100mmを超えない場合は0と入力)		
●中間支保工	無					13	← リストから中間支保工の有無を選択
●ひび割れ拡大防止筋	φ6-150×150					14	← リストからひび割れ拡大防止筋を選択
●荷重	積載荷重(W <sub>LL</sub> )	2900	N/m <sup>2</sup>	15	← 積載荷重を入力		
	その他の荷重(W <sub>OL</sub> )	1000	N/m <sup>2</sup>	16	← 仕上等を含むその他の荷重を入力		
	施工時作業荷重(W <sub>wL</sub> )	1470	N/m <sup>2</sup>	17	← 作業荷重(通常1,470N/m <sup>2</sup> )を入力		
●接合方法	焼抜き栓溶接					18	← リストから接合方法を選択
●耐火認定仕様	FP060FL-0184					19	← リストから耐火認定番号を選択 ※ FP060～は1時間耐火・FP120～は1・2時間耐火に対応
●鉛直荷重の判定	<a href="#">クリックで計算書へ→</a>		鉛直荷重の計算		27	← <a href="#">クリックで鉛直荷重計算書に移動</a>	
		1. 施工時の検討	OK		← 施工時の検討結果を表示		
		2. 設計時の検討	OK		← 設計時の検討結果を表示		
		3. 耐火仕様の検討	○		← 耐火時の検討結果を表示		
<b>水平荷重の検討</b>						※ 水平荷重の検討は3～19に加えて <b>20～25</b> を入力してください。	
●接合方法	焼抜き栓溶接 の検討	7.4	kN/個				
●柱スパン	デッキと平行方向のスパン(Lx)	6000	mm	20	← デッキと平行方向の柱スパンを入力		
	デッキと直行方向のスパン(Ly)	7500	mm	21	← デッキと直行方向の柱スパンを入力		
●地震時積載荷重(W <sub>eL</sub> )	800		N/m <sup>2</sup>	22	← 地震時積載荷重を入力		
●地震層せん断力係数(Ci)	0.5						
●水平荷重の判定	<a href="#">クリックで計算書へ→</a>		水平荷重の計算		28	← <a href="#">クリックで水平荷重計算書に移動</a>	
●接合間隔	デッキ断面方向	200	mm	24	← デッキ断面(直行)方向の接合間隔を入力		
	デッキ長手方向	600	mm	25	← デッキ長手(平行)方向の接合間隔を入力 ※ 焼抜き栓溶接の最大間隔は計算結果に係わらず、 デッキ断面方向200mm・長手方向600mmまで		